

希少疾患の集約について

平成27年10月5日
広島県健康福祉局

1 希少疾患を集約するメリット

(1) 質の高い医療の提供

症例を集積することで、スタッフの経験値が高まり、予後の改善に結びつくことが期待でき、患者満足度の向上につながる。

(2) 教育効果の向上

症例を集積することで、希少疾患を多数経験でき、専門医の資格取得も容易になる。(医師や研究者を惹きつけるマグネットとなる。)

(3) 治験や臨床研究の活性化

希少性ゆえに治療や医薬品開発が進まない難病疾患などの領域において、製薬企業や学会等と連携しながら、新たな治療薬の開発や臨床研究の活性化を促進する。

2 検討事項と着目点(案)

- (1) 集約すべき希少疾患の選定
 - 原発性の疾患
 - 治療難易度が高い疾患
 - まとめて集約すべき疾患(疾患群の括り方)
- (2) 集約先病院の選定
 - 実績件数の多さ
 - 集約先は1か所にこだわらない
- (3) 集約の方法
 - 患者紹介のルール(市中医療機関への周知方法)
- (4) 集約の開始時期